

事業の概要

1 常設展示

常設展示を構成する資料

(平成元年度中展示延点数)

区 分	実物資料 及び標本類	ジオラマ機器 模 型 類	カラー透視写真 及 び 写 真	図 板	計
地 学	438点	30点	6 点	28点	502点
生 物	884	88	98	25	1,095
歴 史・民 俗	650	29	51	42	772
美 術	487	—	—	5	492
合 計	2,459	147	155	100	2,861

(1) 地学・生物展示室 (515㎡)

〈地 学〉

- 本県の地形と地質の全貌と特徴を各種の模型で展示。
- 郷土の生いたちについて岩石や化石などによって解説。
- 本県及びその周辺で産出した化石と各地質時代の化石（三葉虫、アンモナイト、タルボサウルスほか）の展示。ナウマンゾウの全身骨格（模型）とゾウの進化に関するコーナーを設置。
- 古生物を中心にした各地質時代の景観復元ジオラマ7景。
- 本県で産出した有用鉱物を中心として、基本的な鉱物（水晶、方解石、ざくろ石、黄鉄鉱等）を展示。
- 温泉の地下地質と湧出する機構を示す模型の展示。
- 紫外線の照射による蛍光鉱物の発光実験。
- 各種ウラン鉱の展示と放射能測定の実験。
- 砂丘と大山の地質的特徴とその生成発達を解説展示。
- 人類の進化についてレーザーディスクによって解説。

〈生 物〉

- 大山と砂丘の生物の垂直分布や水平分布の状態とその特性を解説展示。
- 岩礁の生物の生態と分布を解説展示（ジオラマ）。
- 中国山地の代表的な植生景観と動物の生態展示（ジオラマ）。
- 頭足類、甲殻類、魚類の分類と生態を解説展示。
- ハチュウ類の分類展示。
- 両生類の分類展示。オオサンショウウオの発育過程と飼育の展示。
- 池の生物の生態展示（ミニジオラマ）。
- 水生小動物の飼育展示。
- 鳥類の生息環境による分類と生態を解説展示。

- 哺乳類の分類展示。
- 山陰沿岸の貝類の分類と生態を解説展示。
- 昆虫の生活様式による分類と生態を解説展示。
- 郷土の植物の分類展示。
- 樹幹とキノコの生態展示。
- 動物の行動や植物の生育環境等をレーザーディスクによって解説。

(2) 歴史・民俗展示室 (515㎡)

〈狩猟から農耕へ〉

- 縄文時代の遺物（土器、石器、骨角器）と生活の解説展示。
- 弥生時代の遺物（青銅器、土器、石器）及び文化交流などの解説展示。

〈古墳とその時代〉

- 古郡家1号墳をはじめとする古墳の一括資料の解説展示。
- 本県で出土した須恵器の分類展示。
- 重要文化財伯耆長瀬高浜遺跡出土はにわ等本県で出土した代表的なはにわの展示。
- 銅鏡、各種玉類、武具、馬具などの展示。
- 梶山古墳彩色壁画のカラー写真パネルと出土遺物の展示。

〈奈良・平安の因伯〉

- 古廃寺出土の軒丸瓦、仏足、瓦経などの展示。
- 伯耆国分寺跡出土の風鐸の展示。
- 経筒等経塚出土品の展示。
- 国宝三徳山三仏寺投入堂模型（10分の1）。
- 因幡国庁出土の墨書土器緑釉陶器等の展示。
- 平城宮出土の木簡（レプリカ）の展示。
- 伊福部徳足比売骨蔵器（レプリカ）の展示。
- 時範記（複製）等の展示。
- 国宝・伯耆一宮経塚出土の経筒（レプリカ）の展示。

〈戦乱の時代〉

- 因伯の荘園と武士団の分布図及び伯耆国河村郡東郷庄下地中分図（模写）の展示。
- 中世遺跡出土、鰐口、青磁小壺、白磁五輪花皿、青磁香炉、青磁盤の展示。
- 新興寺文書及び伝名和長年像の展示。
- 布施天神山城出土の陶磁器片の展示。
- 梵鐘二口（廃阿代寺、国英神社）印賀宝篋印塔（レプリカ）の展示。

〈土農工商の社会〉

- 鳥取城模型、鳥取城下図（模写）、鳥取城瓦など鳥取城関係の展示。
- 池田光伸肖像・書画をはじめ鳥取池田家の解説展示。
- 大山寺領総図（模写）・大山牛馬市図など江戸時代の大山寺の解説展示。
- 検地帳や宗門改帳、町奉行日記や町年寄日記など江戸時代の農村と都市について展示。
- 鳥取藩の藩札と近世の貨幣などの展示。

〈因州藩から鳥取県へ〉

- 最後の藩主池田慶徳、初代県令河田景与の肖像写真パネルの展示。

- 藩から県に移行する時期の行政の日誌の展示。

〈生活の中の道具〉

- 江戸時代末期から明治時代にかけて分布した広間型農家の一部を復元し、生活用具を配して展示。
- 稲作農具を稲作作業の進行にしたがって展示。
- 本県の漁業について、漁具、漁船模型、海女関係民具などを展示。
- 日用品、交易、化粧、食器その他の日用品の分類展示。
- 行器(ほかい)、婚礼に使用された各種のつものたるなどの展示。

〈伝え継ぐ心〉

- 年中行事、県内の代表的な民俗行事を季節により写真と資料によって解説展示。
- 人形芝居、きりん獅子、郷土玩具などの芸能娯楽用具を解説展示。
- とんどう、双盤念仏、綱引き、亥の子などの民俗行事をVTRによって動態的に展示。

〈歴史の窓〉

- 旧鳥取藩土増井家資料 元年6月2日～7月3日
- はかる民具 一はかり・ます・ものさし 元年7月4日～8月31日
- 鳥取県内出土の弥生時代・古墳時代の鏡 元年9月1日～10月29日
- 河田佐久馬 一 二十士事件の前と後 元年10月31日～12月3日
- 鳥取藩三代藩主池田吉泰所用色々威胴丸 2年1月5日～2月4日
- 雪と民具 2年2月6日～3月30日
- 須恵器の窯とその出土品 2年3月31日～5月27日

(3) 美術展示室 (260㎡)

- 平安時代から室町時代の国・県指定の仏像・仏画を展示。
- 江戸時代の鳥取藩絵師等の掛軸・屏風及び本県出身作家の作品を展示。
- 本県出身の彫刻家の作品をロビー等に展示。

主な展示資料 ◎重要文化財 △重要美術品 ○保護文化財

〈仏像・仏画等〉

○大日如来坐像(木造)	若桜町永福寺蔵	○木造狛犬	三朝町湯谷地区蔵
○木喰稻荷像(木造)	倉吉市円谷地区蔵	蔵王権現立像(木造)	岩美町観照院蔵
涅槃図(絹本)	西伯町宝禅寺蔵	毘沙門天立像(木造)	個人蔵
涅槃図(絹本)	鳥取市興禅寺蔵	○釈迦十六善神図	用瀬町大安興寺蔵
涅槃図(絹本)	智頭町豊乗寺蔵	十二天画像	智頭町豊乗寺蔵

〈工芸〉

密教法具	当館蔵	懸仏	個人蔵
備前焼壺	個人蔵	染の型紙	個人蔵
○染織布	鹿野町讓伝寺蔵	白磁四耳壺	個人蔵
○擬宝珠(二口)	関金町地藏院蔵	漆芸品	当館蔵
○飾太刀	鳥取市樗谿神社蔵		

〈近世絵画〉

○東方朔図	土方稻嶺	個人蔵	虎之図	土方稻嶺	個人蔵
牡丹小禽図	〃	〃	山水花鳥図	〃	当館蔵
花下麝香猫図	〃	〃	千匹鯉図	黒田稻阜	〃

遊鶴図	土方稻嶺	個人蔵	女酒宴図	根本幽峨	個人蔵
猿鹿図	〃	当館蔵	淡青緑山水図	〃	〃
遊鯉図屏風	黒田稻臯	個人蔵	梅花百鳥双鯉図	小畑稻升	〃
花鳥図屏風	〃	〃	四季花鳥図屏風	〃	〃
○群鯉遊泳図屏風	〃	〃	群鯉図	〃	〃
六馬図	〃	〃	○猛虎図	片山楊谷	〃
東海道中図屏風	島田元旦	〃	吉野松島図屏風	正増適処	当館蔵
花鳥図	〃	〃	芳野山春景図	沖 探容	個人蔵
青緑山水図	〃	〃	○富士見西行図	〃	〃
秋景山水図	〃	〃	観梅図	土佐光成	当館蔵
酔李白図	〃	〃	花容	濱田台兒	〃
仙境雅会図	〃	〃	女辯護士	〃	〃
楼閣山水図	根本幽峨	〃			

〈近代彫刻〉

つどい	長谷川塊記	当館蔵	非化Q	辻 晋堂	個人蔵
裸	早川巍一郎	〃	寒 山	〃	〃
寒 拾	辻 晋堂	個人蔵	拾 得	〃	当館蔵
鶏と女	〃	〃	婦人像	〃	個人蔵

(4) 近代美術展示室 (374㎡)

ア 鳥取県の近代美術

会期 平成元年5月20日(土)～7月2日(日)

郷土の近代美術の発展に貢献した遠藤董、前田寛治、伊谷賢蔵、辻晋堂、長谷川塊記らの作品約50点を展示し、鳥取県の近代美術のあゆみを紹介した。

〈主な展示作品〉

(油 彩)

遠藤 董	「鳥取城」	前田利三	「神戸寺池町」
香田勝太	「庭先」	笹鹿 彪	「室内にて」
安岡信義	「夏の河岸」	伊谷賢蔵	「室内裸婦」
久米福衛	「浜田少年像」	尾崎悌之助	「山陰海濱」
中井金三	「橋津風景」	浜田重雄	「えりまきした女」
前田寛治	「棟梁の家族」	川上貞夫	「T子像」

(水彩画)

遠藤 董	「こともし」	大淵晴雄	「峠」
松田晃八	「農家」	恩田孝徳	「静物」

(日本画)

中島菜刀	「ひばりの巣」	谷角日婆春	「女」
------	---------	-------	-----

(彫 刻)

長谷川塊記	「裸婦坐像」	辻 晋堂	「詩人(大伴家持試作)」
-------	--------	------	--------------

(埋木木工 — 特別陳列)

西村莊一郎 「額絵」「硯箱」等

イ 現代の陶芸 ～器と陶彫～

会期 平成2年1月5日(金)～3月11日(日)

北大路魯山人や荒川豊蔵などの「器もの」と辻晋堂や八木一夫などの「陶彫」約140点を展示し、現代日本陶芸の新しい動向を紹介した。

〈主な展示作品〉

○伝統的な陶芸作品

北大路魯山人	○織部四方皿	13代酒井田柿右衛門	○錦手桐鳳凰文皿
バーナード・リーチ	○白磁茶碗	14代酒井田柿右衛門	○濁手牡丹文八角蓋物
河井寛次郎	○青瓷鱧血文盃	13代今泉今右衛門	○色鍋島唐花文水指
石黒宗麿	○彩釉仏文茶碗	13代中里太郎右衛門	○唐津三島掻落染付辰砂魚文扁壺
荒川豊蔵	○茶碗	10代三輪休和	○萩茶碗
浜田庄司	○柿釉赤絵丸紋皿	11代三輪休雪	○萩灰被水指
楠部弥弼	○彩埴曙花瓶	金重陶陽	○備前花入
田村耕一	○鳥文丸蓋物	藤原 啓	○備前窯変花入
藤本能道	○色絵金彩牡丹図四角筥	山本陶秀	○備前梅瓶
清水卯一	○鉄釉春夏秋冬字扁壺	藤原 雄	○備前播座花器
近藤悠三	○柘榴染付壺	塚本快示	○青白磁輪花茶碗
伊東 慶	○華湍牡丹水指	若尾利貞	○鼠志野渡鶴文長皿
加守田章二	○壺	鈴木 蔵	○志野茶碗
宮永理吉	○青白磁捻文蓋物	加藤孝造	○瀬戸黒茶碗
瀬戸 浩	○灰釉焼メ銀ストライプ壺	浅野 陽	○富士大皿
竹中 浩	○瑠璃釉八稜盤	鈴木三成	○青瓷水指
和太守卑良	○連蓄文器	川瀬 忍	○青磁花入
15代楽吉左衛門	○黒染茶碗	松井康成	○晴白練上陶管
金城次郎	○魚紋特大嘉瓶	高内秀剛	○窓抜赤絵土瓶

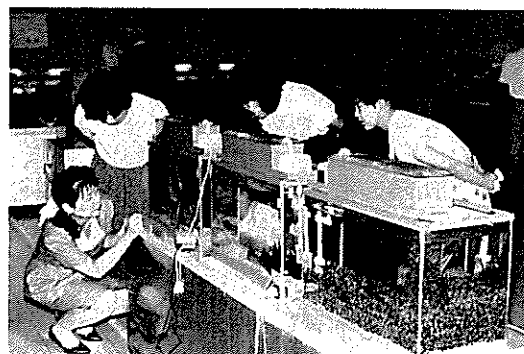
○前衛的な作品

辻 晋堂	○タオスにて	宮永理吉	○直方体三折形
八木一夫	○曲	中村錦平	○土瓶
熊倉順吉	○白いドレス	林 秀行	○メッセンジャー
荒木高子	○黒い聖書	三輪龍作	○王女
山田 光	○黒陶スクリーン	金重晃介	○備前菱壺
鈴木 治	○波の馬	星野 暁	○仮の器、双筒花生
速水史朗	○陶板	深見陶治	○清キノ想イⅢ
林 康夫	○波形の如く	滝口和男	○無題
伊藤公象	○アイスペール		
三島喜美代	○ニュース・ペーパー		

2 特 別 展

(1) 山陰の海 ～磯のウオッチング～

会 期 平成元年7月28日(金)～8月27日(日)
 会 場 第1展示室、第2展示室
 主 催 鳥取県教育委員会、鳥取県立博物館
 後 援 鳥取県各市町村教育委員会
 入館料 一般510円(410円)、高校生300円(200円)
 小・中学生150円(100円) ()は団体料金



海の生きものの種類や特徴は多種多様であり、しかも、多くのものは複雑な環境を条件を備えた磯を中心に生活している。

この展覧会では、日本海の移り変わりとともに、そこで生活するようになった生き物—特に山陰の磯の小動物たちについて、その種類や生活の様子を紹介した。

〈関連行事〉

ア 特別講演会

期 日 平成元年8月12日(土)
 演 題 日本海に生息する動物
 講 師 のとじま臨海公園水族館 副館長 荻野洸太郎氏

イ 磯の学習会

期 日	テーマ	講 師
7月29日(土)	磯の生物たち	岩田 弘氏
8月19日(土)	日本海の貝類	竹林 慶謹氏

主な展示資料

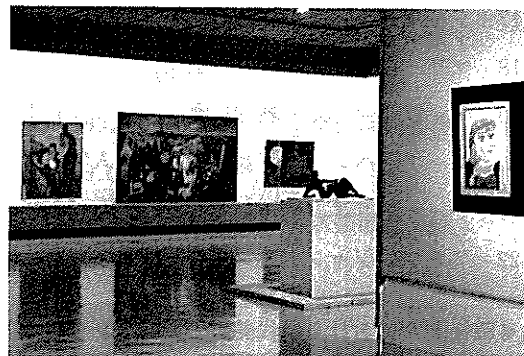
展 示 資 料	点数	所 蔵 者
1. 日本海の移り変わり		
○日本海の始まり		
緑色凝灰岩	1	鳥取県立博物館
タニシ化石	1	島根大学理学部
○悪熱帯の海		
ツキヒガイ・オニツノガイ科・ニシキウズ科・リュウテンサザエ科などの化石	16	鳥取県立博物館
クラミス・キムラホタテガイ・サザナミガイ・ヤスリツノガイ・クジラの頭骨などの化石	29	広瀬繁登氏
ピカリア・ピカリエラ・コンボウウニの一種の化石	3	滝田澄正氏
イズラチサラガイ・クガンジツキヒガイ・ハネガイの一種などの化石	5	村田宣博氏
ミノガイ科・オオハネガイの化石	2	岡山県大佐町教育委員会
クモヒトデ・トビエイ・タコブネ・キタノオオノガイなどの化石	33	島根大学理学部
○冷暖をくりかえす日本海		
ヨコヤマホタテガイ・ホクリクホタテガイ・オオキララガイ・サギガイなどの化石	24	松浦信臣氏
エゾギンチャク・エゾタマガイ・エゾヒタチオビ・サンショウガイなどの化石	18	鳥取県立博物館

展 示 資 料	点数	所 蔵 者
○おしよせる氷河 ナウマンゾウ切歯・ナウマンゾウ臼歯・セイウチ切歯	3	鳥取県立博物館
○豊かな海 ナミマガシワガイ・ゴイサギガイ・ゴマフダマガイ・ウミニナなどの化石	20	鳥取県立博物館
2. 山陰の海		
○寒暖流による生物の広がり マイワシ・トビウオ・マアジ・フエフキダイの仲間・ズワイガニ・タイマイなど	21	鳥取県立博物館
○暖流により旅する流れ藻 ホンダワラ類	6	鳥取県立博物館
3. 磯のウオッチング		
○海底に繁る海藻 アナアオサ・ハネモ・クロキツタ・ウスヒトエグサ・ミル・フサイワタズルなど	31	鳥取県立博物館
○磯の動物 ダイダイイソカイメン・ウメボシイソギンチャク・ツノヒラムシ・シャコ・イワガニ・アメフラシ・ツメタガイ・イトマキヒトデ・オカメブンブク・マボヤなど	113	鳥取県立博物館
オーバーヘッド投影	2 式	鳥取県立博物館
4. 豊かな山陰の海と私たち 操業模型類・漁法説明パネル	25	鳥取県境港水産事務所
ビデオ映像	1 式	鳥取県立博物館



(2) 現代美術の創造者たち ～昭和20年代の京都・大阪・神戸～

会 期 平成元年10月10日(火)～11月 9 日(日)
 会 場 第1展示室、第2展示室、第3展示室
 主 催 鳥取県教育委員会、鳥取県立博物館
 後 援 鳥取県各市町村教育委員会
 入館料 一般720円(610円)、高校生510円(410円)
 小・中学生300円(200円) ()は団体料金



日本の現代美術は、戦後、ヨーロッパやアメリカの新しい美術思想を取り入れながら独自の発展を遂げ、国際的にも高い評価を得ている。

この展覧会では、現代美術の原点ともいえる、昭20年代の京都、大阪や神戸で芽ばえた前衛(革新)的な美術グループの作品と、戦後の日本美術に大きな影響を与えた外国作家の作品を展示・紹介した。

〈関連行事〉

美術座談会

期 日 10月14日(土)

テーマ 現代美術の創生期を語る

講 師 美術評論家 木村重信氏 司会 三谷 巍

彫刻家 橋本正司氏

出品目録

作 家 名	作 品 名	制作年	材 質	寸 法 (cm)	所 蔵
◀戦後日本美術に影響を与えた外国の美術家▶					
1	モンドリアン、 ピエト	1916頃	油彩・キャンバス	124.5×75.0	京都国立近代美術館
2	エルンスト、マ ックス	1920頃	油彩・キャンバス	81.0×99.6	国立西洋美術館 (山村コレクション)
3	シュビッター ス、クルト	1923-26	コラージュ	12.8×10.5	京都国立近代美術館
4	シュビッター ス、クルト	1924	コラージュ	20.0×15.5	京都国立近代美術館
5	ブランクーシ、 コンスタンティン	1925	ブロンズ	45.0×18.0×26.0	ギャラリーところ
6	カンディンスキ ー、ワリシー	1927	油彩・キャンバス	61.4×49.4	横浜美術館
7	ルオー、ジョル ジュ	1920頃	油彩・キャンバス	72.0×50.0	
8	ピカソ、パブロ	1937	油彩・キャンバス	55.0×38.0	徳島県立近代美術館
9	ピカソ、パブロ	1938	油彩・キャンバス	73.7×90.2	京都国立近代美術館
10	ブラック、ジョ ルジュ	1938	油彩・キャンバス	89.5×107.5	横浜美術館
11	マチス、アンリ	1946	シルクスクリーン	165.0×376.5	滋賀県立近代美術館
12	ザッキン、オシ ップ	1947	リンネル ブロンズ	126.0×57.0×50.0	兵庫県立近代美術館
13	ミロ、ジョアン	1950	油彩・キャンバス	100.8×73.5	岐阜県美術館
14	ミロ、ジョアン	1950	陶	24.0×21.0×46.0	京都国立近代美術館
15	ポロック、ジャ クソン	1951	エナメル キャンバス	151.0×185.0	国立西洋美術館 (山村コレクション)
16	ノグチ、イサム	1952頃	陶	65.0×34.0×18.5	草月美術館

作家名	作品名	制作年	材質	寸法 (cm)	所蔵
17 ジャコメッティ、 アルベルト	女性の立像	1952	ブロンズ	50.5×9.0×17.0	徳島県立近代美術館
18 マリーニ、マリ ノ	騎手	1952	ブロンズ	Ⓔ58.0	石橋財団 ブリヂストン美術館 徳島県立近代美術館
19 デュビュッフェ、 ジャン	熱血漢	1955	油彩・キャンバス	65.0×50.0	徳島県立近代美術館
20 ムーア、ヘンリ ー	着衣の横たわる人物	1957	ブロンズ	30.5×71.0×24.0	笠間日動美術館
21 フォートリエ、 ジャン	雨	1959	グワッシュ・石膏 キャンバス	81.0×130.0	大原美術館
22 アルプ、ジャン	ダンスの華麗さ	1960	ブロンズ	118.0×76.0×10.5	徳島県立近代美術館

◀戦後関西における現代美術の先駆者▶

1 辻 晉堂	虚空	1950頃	木	75.5×31.5×34.5	京都国立近代美術館	
2 辻 晉堂	裸婦	1951	白セメント	100.0×70.0×90.0		
3 辻 晉堂	寒山	1954	ブロンズ	59.0×29.0×15.5		
4 辻 晉堂	氈々氈々	1955	石膏	55.5×40.0×34.0		
5 堀内 正和	壺	1949	石膏	127.0×35.0×35.0		
6 堀内 正和	海辺	1951	石膏	48.0×129.0×72.0		
7 堀内 正和	線 a	1954	鉄	91.0×65.0×38.0		兵庫県立近代美術館
8 堀内 正和	五つの正方形と五つの 長方形	1955	鉄	77.0×32.0×37.0		東京都美術館
9 植木 茂	モードス	1949	木	58.0×34.0		下関市立美術館
10 植木 茂	トルソ	1952頃	木	35.0×30.0×77.0		東京都美術館
11 植木 茂	トルソ	1954	木	56.0×21.5	下関市立美術館	
12 植木 茂	作品	1954	木	66.0×16.0	下関市立美術館	
13 長谷川三郎	無題—石器時代土偶に よる	1946	油彩・キャンバス	54.0×45.0	私立甲南高等学校	
14 長谷川三郎	湖のほとりにて(1)	1948	油彩・キャンバス	71.0×98.5	私立甲南高等学校	
15 長谷川三郎	無題	1952頃	拓本・紙	138.2×68.5	私立甲南高等学校	
16 長谷川三郎	無題	1954頃	水墨・紙	138.8×70.0	私立甲南高等学校	
17 津高 和一	母子像	1951	油彩・キャンバス	91.0×73.0	兵庫県立近代美術館 (山村コレクション)	
18 津高 和一	埋葬	1952	油彩・キャンバス	91.0×73.0	兵庫県立近代美術館 (山村コレクション)	
19 津高 和一	作品 Q52	1954	油彩・キャンバス	91.0×117.0	兵庫県立近代美術館 (山村コレクション)	
20 須田 剋太	不協雑音	1955	油彩・麻布	162.5×131.0	埼玉県立近代美術館	
21 須田 剋太	作品 1959 a	1959	油彩・石膏・麻布	163.0×113.0	埼玉県立近代美術館	

◀新匠美術工芸会▶

1 富本 憲吉	色絵更紗模様六角飾筥	1945	磁器	Ⓔ6.6 Ⓕ22.1	奈良県立美術館
2 富本 憲吉	色絵金銀彩「風花雪月」 字陶額	1950	磁器	Ⓔ1.9 Ⓕ7.5	奈良県立美術館
3 富本 憲吉	銅彩蠟抜き竹林月夜模 様鉢	1951	陶	Ⓔ8.0 Ⓕ29.1	奈良県立美術館
4 富本 憲吉	色絵金銀彩羊歯模様香 炉	1952	陶	Ⓔ8.6 Ⓕ11.0	奈良県立美術館
5 富本 憲吉	赤地金銀彩羊歯模様蓋 付飾壺	1953	磁器	Ⓔ18.0 Ⓕ22.9	奈良県立美術館
6 近藤 悠三	雲之図壺	1950	磁器	Ⓔ25.5 Ⓕ30.0	
7 近藤 悠三	躑躅染付花瓶	1951	磁器	Ⓔ32.8 Ⓕ23.1	
8 近藤 悠三	赤呉須赤絵角皿	1951	磁器	Ⓔ5.7 Ⓕ30.2	

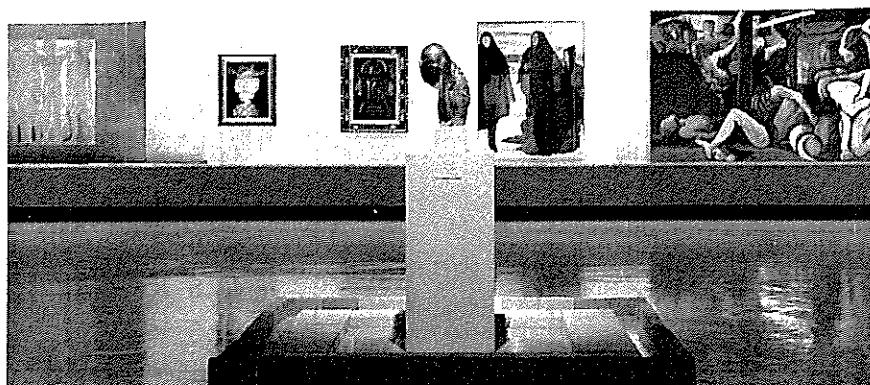
作家名	作品名	制作年	材質	寸法 (cm)	所蔵	
9 山田 結	鷓鴣斑霞雨霜雪模様壺	1946	陶	Ⓗ27.0Ⓢ18.0	京都国立近代美術館	
10 山田 結	詩文壺	1952-53	陶	Ⓗ32.0Ⓢ12.5		
11 稲垣稔次郎	東寺の縁日(壁掛)	1952	木綿・型絵染	180.0×180.0		
12 稲垣稔次郎	祇王寺の秋(二曲屏風)	1952	木綿・型絵染	96.0×248.0		
13 稲垣稔次郎	三十三間堂内陣の図 (二曲屏風)	1953	紙・型絵染	52.0×177.0		京都市立芸術大学
14 小合友之助	山月(二曲屏風)	1946	紙・蒔繪染	170.0×185.0		
15 小合友之助	雨(二曲屏風)	1953	紙・蒔繪染	170.0×185.0		京都市立芸術大学
◀四 耕 会▶						
1 宇野 三吾	オブジェ	1950	陶	Ⓗ51.5Ⓢ30.5Ⓓ24.5	京都国立近代美術館	
2 宇野 三吾	碧釉銅器式花器	1955頃	陶	Ⓗ18.5Ⓢ20.5		
3 林 康夫	作 品	1948	陶	Ⓗ33.0Ⓢ29.5Ⓓ20.5		
4 林 康夫	群 鳥	1948	陶	Ⓗ22.7Ⓢ24.8Ⓓ20.6		
5 林 康夫	人 体	1950	陶	Ⓗ45.5Ⓢ23.4Ⓓ19.8		
6 林 康夫	作 品	1951	陶	Ⓗ32.5Ⓢ50.4Ⓓ27.0		
7 林 康夫	座 像	1953	陶	Ⓗ57.5Ⓢ55.0Ⓓ26.5		
8 林 康夫	作 品	1954	陶	Ⓗ39.2Ⓢ23.3Ⓓ34.3		
9 鈴木 康之	芽	1947	陶	Ⓗ31.0Ⓢ12.5Ⓓ10.5		
10 鈴木 康之	作 品	1954	陶	Ⓗ27.0Ⓢ62.5Ⓓ35.0		
11 鈴木 康之	作 品	1954	陶	Ⓗ51.5Ⓢ24.5Ⓓ14.5		
12 三浦 省吾	花 器	1954	陶	Ⓗ36.5Ⓢ38.0Ⓓ29.6		
13 三浦 省吾	空洞の形	1950	陶	Ⓗ29.7Ⓢ34.0Ⓓ25.8		
14 中西 美和	作品 '57-14	1957	陶	Ⓗ29.0Ⓢ85.0Ⓓ18.5		
15 雲雀 民雄	オブジェ	1953頃	陶	Ⓗ57.0Ⓢ34.0Ⓓ30.0		
16 雲雀 民雄	花 器	1954頃	陶	Ⓗ42.0Ⓢ42.0Ⓓ40.0		
17 藤田 作	トルソ	1949	陶	Ⓗ28.8Ⓢ22.6Ⓓ23.0		
18 藤田 作	トルソ	1950	陶	Ⓗ47.5Ⓢ25.5Ⓓ15.5		
◀走 泥 社▶						
1 八木 一夫	春の海	1947	陶	Ⓗ21.0Ⓢ20.0	京都市立美術館 京都国立近代美術館	
2 八木 一夫	金環蝕	1948	陶	Ⓗ58.0Ⓢ18.0		
3 八木 一夫	二口壺	1950	陶	Ⓗ19.0Ⓢ20.0Ⓓ13.5		
4 八木 一夫	黒絵鶴首瓶	1952-53	陶	Ⓗ24.7Ⓢ10.0		
5 八木 一夫	ザムザ氏の散歩	1954	陶	Ⓗ27.5Ⓢ27.0Ⓓ14.0		
6 山田 光	白化粧象嵌壺	1947	陶	Ⓗ30.3Ⓢ29.0		
7 山田 光	白化粧線刻二つ口の壺	1952	陶	Ⓗ22.0Ⓢ26.0Ⓓ26.0		
8 山田 光	作品花生	1953	陶	Ⓗ22.0Ⓢ23.5Ⓓ22.5		
9 山田 光	作 品	1954	陶	Ⓗ23.5Ⓢ21.5Ⓓ17.5		
10 山田 光	作 品	1954	陶	Ⓗ22.0Ⓢ32.0Ⓓ10.5		

作家名	作品名	制作年	材質	寸法 (cm)	所蔵
11 鈴木 治	黒釉壺	1948	陶	Ⓔ28.0Ⓕ17.0	
12 鈴木 治	緑釉壺	1948	陶	Ⓔ61.1Ⓕ18.5	
13 鈴木 治	無花果の壺	1951頃	陶	Ⓔ22.5Ⓕ24.5	
14 鈴木 治	双頭壺	1952	陶	Ⓔ38.5Ⓕ32.5	
15 鈴木 治	作品	1954	陶	Ⓔ38.0Ⓕ27.0	
◀創造美術▶					
1 吉岡 堅二	柿	1948	紙本着色	157.5×126.0	東京国立近代美術館
2 向井 久万	浮 游	1950	紙本着色	147.5×87.5	泉佐野市教育委員会
3 秋野 不矩	少年群像	1950	紙本着色	117.7×147.5	浜松市美術館
4 広田 多津	裸 婦	1951	紙本着色	152.0×62.0	京都市美術館
5 沢 宏勅	礁	1953	紙本着色	153.5×121.0	滋賀県立近代美術館
6 上村 松篁	池	1954	紙本着色	180.0×149.0	京都市美術館
7 奥村 厚一	浪	1955	紙本着色	115.0×185.0	
◀パンリアル美術協会▶					
1 三上 誠	雪の日の丘	1947	紙本着色	151.2×118.2	福井県立美術館
2 三上 誠	F市曼陀羅	1950	紙本着色	181.7×182.0	福井県立美術館
3 星野 真吾	二 人	1946	紙本着色	145.0×115.0	豊橋市美術博物館
4 星野 真吾	巢	1949	紙本着色	182.5×272.0	名古屋市美術館
5 山崎 隆	海 浜	1948	紙本着色	100.0×73.0	
6 山崎 隆	象	1949	紙本着色	72.0×90.0	
7 不動 茂弥	物 語	1949	紙本着色	173.5×271.0	
8 不動 茂弥	作 品	1951	紙本着色	107.2×132.4	
9 大野 俣嵩	人	1954	紙本着色	159.5×142.5	
10 大野 俣嵩	水色の孤独	1954	紙本着色	114.0×99.0	
11 下村良之介	祭	1949	紙本着色	181.0×181.0	
12 下村良之介	夜 の 曲	1951	紙本着色	120.0×120.0	
◀デモクラート美術家協会▶					
1 瑛 九	街	1947	油彩・キャンバス	116.7×80.0	宮崎県総合博物館
2 瑛 九	海 底	1948	油彩・キャンバス	91.0×72.8	宮崎県総合博物館
3 瑛 九	蝶 と 女	1950	油彩・キャンバス	80.3×65.2	宮崎県総合博物館
4 瑛 九	ともしび	1957	リトグラフ・紙	52.0×40.0	宮崎県総合博物館
5 瑛 九	旅 人	1957	リトグラフ・紙	38.0×51.0	宮崎県総合博物館
6 瑛 九	バレリーナ	1950	フォト・デッサン 印画紙	26.0×21.0	徳島県立近代美術館
7 瑛 九	女 の 顔	1950	フォト・デッサン 印画紙	26.0×21.0	徳島県立近代美術館
8 瑛 九	壺 と 女	1950	フォト・デッサン 印画紙	26.0×21.0	徳島県立近代美術館
9 瑛 九	池のほとり	1950	フォト・デッサン 印画紙	26.0×21.0	徳島県立近代美術館
10 瑛 九	小さい悪魔より「背中合せ」	1952	エッチング・紙	20.9×15.4	和歌山県立近代美術館

作家名	作品名	制作年	材質	寸法 (cm)	所 蔵
11 瑛 九	小さい悪魔より「ヴァイオリン」	1952	エッチング・紙	17.8×12.0	和歌山県立近代美術館
12 瑛 九	小さい悪魔より「眼」	1952	エッチング・紙	17.8×12.0	和歌山県立近代美術館
13 瑛 九	小さい悪魔より「散歩」	1952	エッチング・紙	17.9×12.1	和歌山県立近代美術館
14 泉 茂	しゃも	1956	油彩・キャンバス	95.0×77.0	和歌山県立近代美術館
15 泉 茂	逃げたスベード	1956	油彩・キャンバス	116.7×91.0	徳島県立近代美術館
16 泉 茂	嘆きのカップル	1953	エッチング・紙	15.5×11.3	徳島県立近代美術館
17 泉 茂	アダムとイブ	1954	エッチング・紙	32.7×27.4	徳島県立近代美術館
18 泉 茂	コンパス仲間	1954	エッチング・紙	19.0×11.0	徳島県立近代美術館
19 泉 茂	船 出	1954	エッチング・紙	14.5×17.7	徳島県立近代美術館
20 泉 茂	インディアン	1956	リトグラフ・紙	51.0×43.0	和歌山県立近代美術館
21 泉 茂	セレナード	1957	リトグラフ・紙	51.0×41.0	和歌山県立近代美術館
22 早川 良雄	ポスター (カロン洋裁生徒募集)	1955	紙	38.5×51.0	和歌山県立近代美術館
23 早川 良雄	ポスター(カロン・春の ファッションショウ)	1954	紙	36.0×51.2	和歌山県立近代美術館
24 早川 良雄	ポスター(泉茂絵画展)	1954	紙	51.6×37.0	和歌山県立近代美術館

◀具体美術協会▶

1 吉原 治良	作品(夜の鳥)	1951	油彩・キャンバス	129.0×193.0	兵庫県立近代美術館 (山村コレクション)
2 吉原 治良	作 品	1957	油彩・キャンバス	162.8×130.5	兵庫県立近代美術館
3 吉原 治良	作 品	1957	油彩・キャンバス	116.5×91.5	兵庫県立近代美術館
4 元永 定正	タピエ氏	1958	油性アクリルカラー キャンバス	220.0×141.0	兵庫県立近代美術館 (山村コレクション)
5 元永 定正	作 品	1961	油性アクリルカラー キャンバス	181.5×230.0	兵庫県立近代美術館 (山村コレクション)
6 嶋本 昭三	作 品	1955	ペンキ・ガラス 紙・キャンバス	161.5×127.0	兵庫県立近代美術館 (山村コレクション)
7 田中 敦子	作 品	1958	ラッカー キャンバス	224.5×184.0	兵庫県立近代美術館 (山村コレクション)
8 村上 三郎	作 品	1960	油彩・キャンバス	184.0×130.0	兵庫県立近代美術館 (山村コレクション)
9 金山 明	作 品	1957	ミックストメディア ビニールシート	180.3×277.6	兵庫県立近代美術館
10 白髪 一雄	赤い丸太	1955	木・ペンキ	403.0×6.0×10本	兵庫県立近代美術館 (山村コレクション)
11 白髪 一雄	天異星赤髪鬼	1959	油彩・キャンバス	272.5×182.5	兵庫県立近代美術館 (山村コレクション)



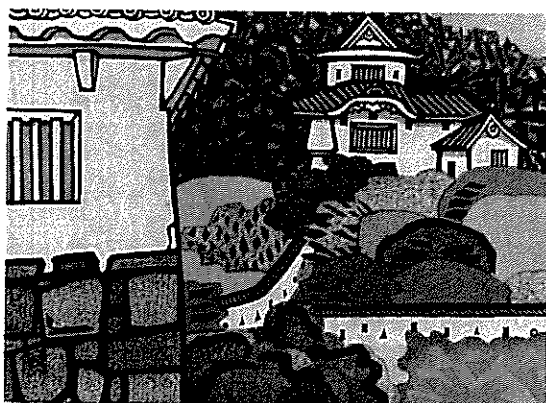
3 催 物 展

(1) 橋本興家版画展

会 期 平成元年3月11日(土)～4月16日(日)

会 場 第1展示室、第3展示室

鳥取県船岡町出身の版画家・橋本興家氏から当館が寄贈をうけた作品をはじめ、代表作95点を展示し、氏の画業を紹介した。



橋本興家
錦繡の城
姫路城

出 品 目 録

形状はすべて紙・木版

No.	作 品 名	大きさ(タテ、ヨコcm)	制 作 年
1	古城ろの門 姫路城	54.5 × 87.0	1938
2	古城清秋 姫路城	82.0 × 98.5	1940
3	夏景名城 千代田城	75.0 × 110.0	1941
4	姫路城 雪	42.5 × 54.0	1942
5	朝 姫路城	41.5 × 56.5	1942
6	アルプスと城 松本城	63.0 × 57.5	1946
7	鳥 取 城	36.0 × 41.0	1947
8	雪 松本城	39.5 × 55.0	1950
9	弘 前 城	74.5 × 51.0	1951
10	秋 弘前城	39.0 × 55.0	1951
11	錦秋 姫路城	40.0 × 55.0	1951
12	錦繡の城 姫路城	39.0 × 54.5	1954
13	白い城 姫路城	39.0 × 55.0	1955
14	夏 犬山城	40.0 × 55.0	1955
15	月光 大阪城址	39.5 × 54.5	1956
16	桜門 大阪城	39.5 × 54.5	1956
17	松と城 彦根城	40.0 × 55.0	1957
18	朝の丸亀城	59.0 × 48.5	1970
19	太鼓櫓と天守 彦根城	44.5 × 32.5	1973
20	櫓門 彦根城	41.0 × 52.5	1975
21	城 姫路城	42.0 × 33.0	1977
22	桃山門 二条城	42.5 × 54.0	1984
23	砂庭 向月台	60.5 × 50.0	1961

No.	作 品 名	大きさ(タテ、ヨコcm)	制作年
24	冬草の庭	60.0 × 49.0	1964
25	小径 桂離宮	73.0 × 52.0	1965
26	雨	48.5 × 60.0	1966
27	銀 波	60.5 × 48.5	1966
28	緋鯉の庭	53.5 × 42.5	1970
29	裏 庭	54.0 × 42.0	1971
30	松と桜と楓	71.0 × 57.5	1971
31	漁 船	49.5 × 61.0	1957
32	竹林五月	73.0 × 52.0	1962
33	花 園	60.0 × 48.5	1967
34	白布高湯の秋	73.0 × 52.0	1968
35	錦秋 嵐山	73.5 × 52.0	1968
36	山 と 湖	72.0 × 51.5	1969
37	塔と鯉のぼり	48.5 × 60.0	1969
38	段々の滝 西沢溪谷	60.0 × 48.5	1969
39	若葉と筍	48.2 × 59.0	1970
40	のとろの華 さんご草	71.5 × 51.5	1972
41	夢殿の在る	42.5 × 54.0	1973
42	滝 日光	60.0 × 49.0	1978
43	知床の落日	42.0 × 53.5	1986
44	昼 寝	53.5 × 42.0	1986
45	砂丘1 鳥取砂丘連作の内	60.0 × 49.0	1966
46	砂丘2 鳥取砂丘連作の内	60.0 × 48.5	1966
47	朝 鳥取砂丘連作の内	60.0 × 49.5	1967
48	砂丘新雪 鳥取砂丘連作の内	59.5 × 48.0	1968
49	雪の砂丘 鳥取砂丘連作の内	59.5 × 48.5	1968
50	砂丘早春 鳥取砂丘連作の内	59.5 × 48.5	1968
51	雲と風紋と馬と 鳥取砂丘連作の内	59.5 × 48.0	1969
52	春 鳥取砂丘連作の内	59.5 × 48.5	1976
53	花と風紋 鳥取砂丘連作の内	60.0 × 49.0	1976
54	晴秋 鳥取砂丘連作の内	60.0 × 49.0	1976
55	曇り日 鳥取砂丘連作の内	60.0 × 49.0	1976
56	冬の家 鳥取砂丘連作の内	60.0 × 49.0	1976
57	朝 山三題の内 白馬より後立山を望む	45.0 × 56.0	1943
58	昼 山三題の内 白馬より後立山を望む	45.5 × 56.0	1943
59	夕 山三題の内 白馬より後立山を望む	45.0 × 56.0	1943
60	北壁新雪 鳥取大山連作の内	72.5 × 51.0	1970
61	原生林A 楓 鳥取大山連作の内	72.5 × 51.0	1970
62	初夏南壁 鳥取大山連作の内	71.5 × 51.0	1971
63	原生林B 山ぶどう 鳥取大山連作の内	71.0 × 51.0	1972
64	朝 富士	39.5 × 39.5	1972
65	昼 富士	40.0 × 39.5	1972

No.	作 品 名	大 き さ (タテ、ヨコcm)	制 作 年
66	夕 富 士	40.0 × 39.5	1972
67	夜 富 士	39.5 × 39.5	1972
68	春 富 士	40.0 × 40.0	1972
69	遠 富 士	39.5 × 39.5	1972
70	峠 富 士	40.0 × 39.5	1972
71	不 二	60.0 × 49.0	1973
72	暮 富 士	39.5 × 39.5	1982
73	木蓮 花連作の内	60.0 × 49.0	1974
74	牡丹 花連作の内	60.0 × 49.0	1974
75	菖蒲 花連作の内	60.0 × 49.0	1974
76	椿 花連作の内	60.0 × 49.0	1974
77	梅 花連作の内	60.0 × 49.0	1975
78	月下美人 花連作の内	60.0 × 49.0	1975
79	朝顔 花連作の内	60.0 × 49.0	1975
80	ひまわり 花連作の内	60.0 × 49.0	1975
81	菊 花連作の内	59.5 × 49.0	1975
82	花もみじ 花連作の内	60.0 × 49.0	1975
83	バラ 花連作の内	60.0 × 49.0	1975
84	山百合 花連作の内	59.5 × 49.0	1975
85	敷石A 長崎連作の内	60.0 × 49.0	1960
86	静A 長崎連作の内	60.5 × 49.5	1961
87	アクロポリスの男 人間連作の内	59.5 × 49.0	1977
88	夕べの詩 人間連作の内	60.0 × 49.0	1977
89	菖蒲と少女	39.0 × 54.5	1952
90	縞衣の少女	75.0 × 52.0	1956
91	白	54.0 × 41.5	1981
92	赤	54.0 × 42.5	1981
93	青	54.0 × 42.5	1981
94	白と赤と青と	54.0 × 42.5	1982
95	試作 裸婦	54.0 × 42.5	1983

(2) オランダ現代美術展

会 期 平成元年4月23日(日)～5月7日(日)

会 場 第2展示室

オランダで活躍している現代美術家グループ「出島」の画家11人の作品約100点を展示・紹介し、国際的な文化交流を深めた。

出 品 作 家

レオン・アンドリアーンズ	リチャード・メンケン
ヤン・ファン・デン・ベルグ	小倉 浩二
ポール・ファン・ダイク	アネリー・オーフォ

ベルト・ヘルメンス

ジャクリーン・ペータース

フランク・ファン・デン・フォーフェル

ディック・フェルドルト

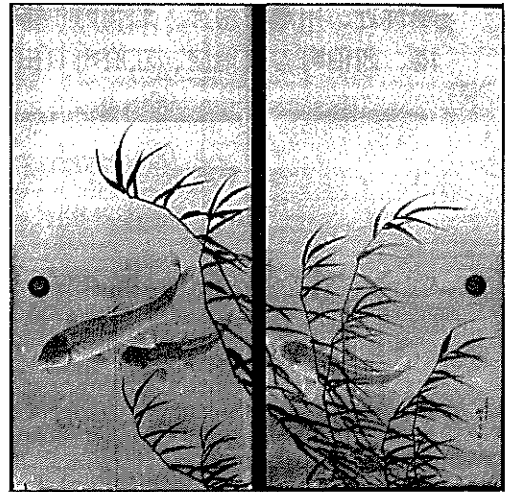
J.C.J.ファン・デル・ハイデン

(3) 因・伯と但馬の襖絵

会 期 平成元年7月8日(土)～7月30日(日)

会 場 第3展示室

因幡・伯耆(鳥取県)と但馬(兵庫県北部)の寺院に伝わる襖絵45面を展示して、生活とつながった大画面の美の世界を紹介した。



小畑稻升 遊鯉図襖

出品目録

No	作者・品名	数	大きさ(cm)	所在地
1	土方 稻嶺 虎溪三笑図	4面	各184.0×98.0	養父町・祐徳寺
2	片山 楊谷 溪流猛虎図	4面	各185.0×98.0	大屋町・山路寺
3	小畑 稻升 芦雁図	4面	各182.0×97.0	浜坂町・自得寺
4	小畑 稻升 楼閣山水図	4面	各182.0×97.0	〃
5	小畑 稻升 芦雁図	4面	各182.0×120.0	〃
6	小畑 稻升 遊鯉図	2面	各182.0×92.0	〃
7	小畑 稻升 立葵図	2面	各182.0×92.0	〃
8	小畑 稻升 雲龍図	4面	各182.0×120.0	〃
9	不明 草蘆に三顧図	4面	各173.0×122.0	用瀬町・東光寺
10	河村 芳舟 蓮池水禽図	6面	各187.0×125.0	鳥取市・妙円寺
11	大島 松谷 三仏寺秋景図	4面	各177.0×98.0	三朝町・三仏寺
12	八百谷冷泉 李白酒酔図	3面	各175.8×96.6	国府町・長通寺
13	八百谷冷泉 秋草図	4面	各172.0×97.4	〃

(4) 空から見た郷土のすがた

会 期 平成元年11月16日(木)～12月13日(水)

会 場 第2展示室

変容する郷土のすがたを、昭和43年から5年ごとに撮影した空中写真と地上定点写真によって紹介した。

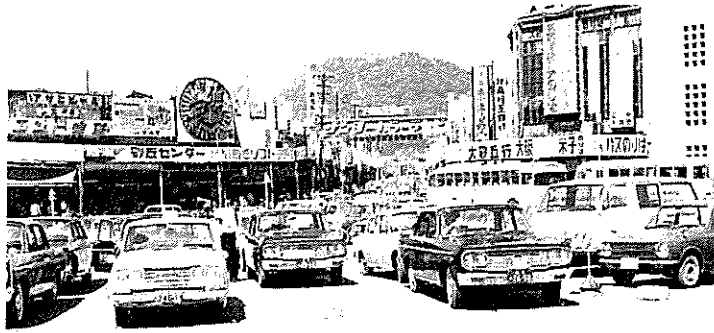
主な展示写真

○空中写真

鳥取市街地、米子市街地、倉吉市街地、境港市街地、鳥取市街地周辺、米子市街地周辺、倉吉市上井地区、鳥取市湖山地区、鳥取市南部、鳥取砂丘、岩美町網代・浦富、用瀬町用瀬周辺、智頭町智頭周辺、北条砂丘、大栄町由良周辺、三朝町穴鴨周辺、東伯町浦安周辺、中山町中山口駅周辺、大山町大山口駅周辺、西伯町法勝寺周辺、江府町江尾周辺、溝口町溝口周辺

○平地展望写真

鳥取駅、鳥取駅前、鳥取市若桜街道、賀露港、鳥取市安長地区、鳥取バイパス、米子駅、米子駅前、米子市富士見町、倉吉駅、境港市役所付近、岩美町田後港、福部村役場付近、河原町役場付近、用瀬町用瀬、船岡町牛市場、智頭町黒尾トンネル、泊村役場付近、関金町山守、淀江港、西伯町谷川地区、江府町貝田地区、溝口町根雨原付近



鳥取駅前（上：昭和43年、下：昭和63年）

4 教育普及活動

(1) 巡回展

展示テーマ	会 期	会 場	入場者数	備 考
空から見た 郷土のすがた	元年6月3日 ～元年6月11日	岩美町中央公民館	人 1,000	変容する郷土のすがた を昭和43年から5年ご とに撮影した空中写真 と地上定点写真によっ て紹介。
	元年6月24日 ～元年6月30日	泊村中央公民館	400	
	元年7月7日 ～元年7月12日	岸本町中央公民館	1,480	
	元年7月21日 ～元年7月24日	境港市民会館	395	
	元年8月3日 ～元年8月6日	溝口町中央公民館	657	
	元年8月20日 ～元年8月23日	江府町山村開発センター	211	
	元年9月15日 ～元年10月15日	倉吉博物館	6,168	
	元年10月24日 ～元年10月29日	中山町中央公民館	688	
	元年11月3日 ～元年11月5日	東伯町総合体育館	900	
	元年11月11日 ～元年11月12日	用瀬町体育館	2,248	
	2年1月14日 ～2年2月13日	みささ美術館	687	
計		(11か所)	14,834	

(2) 天体観望会・見学会

事 業 名	期 日	場 所	参加人員
春の星を見る会	元年4月29日	前庭	36人
野鳥の声を聞く会	5月14日	鳥取市	77
歴史と民俗を訪ねる会	5月21日	用瀬町・佐治村	20
地質見学会	8月6日	中山町	11
秋の星を見る会	10月21日	前庭	42
計			186

(3) 講 座

事 業 名	期 日	参加人員
アート・フォーラム 現代美術を語る	元年4月23日	50人
美術講座 国頭繁次郎の画業	5月27日	18
美術講座 知られざる美術家たち〈藤田文蔵〉	6月10日	10
〃 〃 〈西村荘一郎〉	6月17日	10
〃 近世の襖絵	7月15日	65
磯の学習会 磯の生物たち	7月29日	28
自然講座 海そう標本の作り方	8月2日	70
〃 昆虫標本の作り方	8月2日	36
磯の学習会 日本海の貝類	8月19日	23
自然講座 標本を調べる会	8月24日	131
人文講座 拓本のとり方 (1)	9月30日	23
〃 〃 (2)	10月7日	16
美術講座 鳥取県の仏像	10月28日	22
郷土史講座 石造物から見る江戸時代社会	11月19日	37
美術講座 版画のいろいろ	11月25日	7
計		546

(4) 講 演 会

演 題	講 師	期 日	参加人員
中世の社会と地域と文化	大谷大学教授 黒田俊雄氏	元年6月11日	150人
日本海に生息する動物	のとじま臨海公園 水族館 副館長 荻野洸太郎氏	8月12日	40
美術座談会 現代美術の創生期を語る	美術評論家 木村重信氏 彫刻家 橋本正司氏	10月14日	60
計			250

(5) ミュージアム・コンサート

事業名	内容	期日	参加人員
ミュージアム・コンサート	木管楽器演奏	元年6月18日	59人
	ギター演奏	6月25日	33
	フルート独奏・ギター独奏	7月2日	57
瀧廉太郎の生涯をたどりその名曲を歌う会		6月24日	240
計			391

(6) 資料の貸出

品名	数量	規格・名柄	貸付期間	貸出し先	貸出しの目的
「棟梁の家族」	1	油彩 前田寛治作	元.3.20 ～元.5.17	姫路市立美術館	特別展 美は姫路に
蔵王権現立像	1	木造	元.3.20 ～元.5.7	倉吉博物館	特別展 蔵王権現
三十六歌仙額ほか	4	板絵 狩野探幽作	元.4.12 ～元.5.31	静岡県立美術館	特別展 狩野派の巨匠たち
タンチョウ	1	剝製	元.4.14 ～元.5.26	山口県立山口博物館	企画展 美しい鳥の世界
「白い服の少女」ほか	2	油彩 前田寛治作	元.6.23 ～元.8.18	福島県立美術館	日本的フォーヴィズムの 一断面展
「花と子供等」ほか	2	油彩 前田寛治作	元.7.26 ～元.11.18	美術館連絡協議会	名作にみる 世界の子供たち展
「クスコの朝市」	1	油彩 伊谷賢蔵作	元.7.26 ～2.4.3	美術館連絡協議会	〃
竹編み組み模型ほか	18		元.7.28 ～元.8.8	鳥取県商工労働部	第5回 鳥取県郷土工芸名品展
「横臥裸婦」ほか	2	油彩 前田寛治作	元.9.11 ～元.10.19	倉吉博物館	前田寛治大賞展
「伏臥裸婦」ほか	2	油彩 前田寛治作	元.9.30 ～元.11.20	笠間日動美術館	絵画になった モダン美人展
「棟梁の家族」	1	油彩 前田寛治作	元.10.10 ～2.2.20	朝日新聞社	昭和の洋画・版画 100選展
精霊船ほか	17		元.10.14 ～元.12.4	米フェスタ実行委員会	米フェスタ米郷祭 食と宴の民俗展
癸丑墨夷入津岡 附船人物図ほか	2		元.11.1 ～元.12.6	亀岡市文化資料館	亀岡鉄道物語展
「いきもの」ほか	4	油彩 国頭繁次郎作	元.11.4 ～元.12.5	米子市美術館	国頭繁次郎展
マンモスゾウの臼歯	1	化石	元.11.13 ～元.12.28	宗像市総合公園管理公社	海の漂着物展
素描	6	辻番堂作	元.12.4 ～2.2.28	伊丹市立美術館	彫刻家のデッサン展
合計	75				

5 調査研究活動

(1) 調査研究

分野	事項
地学	湖山池の形成に関する調査研究 ナウマンゾウ化石に関する調査研究
動物	鳥取市に生息する淡水魚に関する調査研究 夜間に活動する昆虫についての調査研究
植物	鳥取市街地の樹幹上のコケについての調査
地学・動物・植物	特別展「山陰の海～磯のウォッチング」関係資料の調査研究
歴史	池田慶徳公伝に関する調査研究 鳥取藩元文一揆に関する調査研究 旧鳥取藩士香河家資料についての調査研究
民俗	内水面漁の漁具・漁法に関する調査 潟に関する文献調査 年中行事についての調査・ビデオ収録 民具資料についての調査
考古	池・水にかかわる遺跡の情報収集 銅鏡に関する調査研究 弥生文化の地域色とその形成過程についての研究 小学校6年生用教科書にみる考古学情報と博物館の展示についての研究 律令時代の祭具製品の特色についての研究 特別展「卑弥呼の時代をさぐる」関係資料の調査
美術	因・伯と但馬に伝わる江戸時代を中心にした郷土作家の襖絵の研究 前田寛治をはじめとする近代郷土作家の作品研究 オランダ及び県内の現代作家の作品研究 現代日本美術の基礎をつくった作家たちの作品研究 陶芸分野における現代作家を中心とした作品の調査研究 日本画家・濱田台兒の作品の調査研究

(2) 研究報告書等の刊行

刊行物の名称	発行時期	発行部数	規格	ページ数
郷土と博物館 第35巻 第1号	元年9月	1,000 ^部	A5	32 ^{ページ}
〃 第35巻 第2号	2年3月	1,000	A5	32
資料調査報告書 第17集	2年3月	300	B5	30
研究報告書 第27号	2年3月	500	B5	64
所蔵目録39 (鉱物2)	2年3月	500	A5	24
博物館年報 No. 17	2年3月	400	B5	50
博物館だより No.45~48	年4回	各2,000	B5	4